



平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業
推進校実践報告書

- 1 学校名：広島県立尾道商業高等学校
- 2 実施日時：2017（平成 29）年 1 月 25 日（水）
- 3 対象：全校生徒（590 名）
- 4 派遣オリンピック：大山加奈さん（バレーボール：アテネオリンピック出場）
- 5 授業内容：講演・実技

2017（平成 29）年 1 月 25 日（水）に広島県立尾道商業高等学校にて、バレーボールでアテネオリンピックに出場された大山加奈さんが、全校生徒 590 名を対象に、「スポーツから学んだこと」というテーマでご講演されました。

187cm という恵まれた体格の大山さんですが、幼少期は喘息を患っていたため、ずっと家にこもって本を読んだり絵を描いたりする日々を送っていたそうです。しかし、バレーボールと出会ってから次第に喘息も治り、一緒に遊ぶ仲間という大きな存在もでき、バレーボールが心身ともに強くしてくれたとお話されました。小学校・中学校・高等学校のいずれにおいても優勝経験があるという輝かしい経歴をお持ちの一方で、アテネオリンピック出場後は腰の怪我に苦しめられ、練習はおろか日常生活にも支障をきたす状態が長く続き、多くの挫折も経験したそうです。しかし、苦しいときにチームの仲間が声をかけ続けてくれたおかげで、困難にも立ち向かい怪我を乗り越え、再びコートに立つことができました。仲間の存在は非常に大きく、高校生のみなさんも仲間を思いやれるように、そして仲間のために頑張れる人になってくださいとメッセージをいただきました。

実技では、女子バレー部員 8 名と、飛び入り参加の男子野球部の生徒 5 名を相手に、サーブやレシーブを披露していただきました。大山さんの力強いサーブは、男子生徒でもたじろいでしまうほどで、大山さんが強烈なサーブを打つたびに会場は大いに沸きました。

生徒の事後アンケートでは、「自分も、自身の夢にふさわしい人間になり、仲間を大切にしたい」「目標は誰でも持てるが、それに向けて練習し続けることが大切だと思った」という感想が見られたほか、「栄光の経験しかない方とっていたが、大変な困難を乗り越えて笑顔でいる大山さんは、とても強いと思った」「自分も今怪我をしているが、今日の講演を聞いて勇気が出た」といったコメントもあり、大山さんの講演を自身の成長の糧として受け取ったメッセージが多くみられました。

6 授業の様子



講演の様子



質疑応答の様子



実技の様子



実技の様子（オリンピック出場選手の力に会場は圧倒されました。）



謝辞



集合写真